ひろしま国際交流・協力情報誌
編集・発行／公益財団法人ひろしま国際センター

HIC通信

Vol.109
July 2020
Hiroshima
International
Center



ひろしま留学大使“似島サイクリング”

目 次

P2 県内留学生による「私の国と日本」

P3 新型コロナウイルス
感染拡大防止に向けた
当センターの対応
イベント・講座案内
Upcoming Event News

P4 新ひろしま留学大使特集

P5 ひろしま国際交流サミットの
助成事業の募集について
留学生による
広島留学動画コンテストの
お知らせ

P6 事業報告
交流部
留学生活躍支援センター

P8 特別記事(被爆75年)
JICA中国の平和への取り組み

P10 コラム
Hello Hiroshima
留学生へ奨学金を支給します

P11 JICAレポート
こちら JICA デスク

県内留学生が紹介！

県内の留学生から母国と日本の様々な違いについて紹介してもらいます！

私の国と日本

アゼルバイジャン編

留学生紹介　シェムス・アジモワさん

広島大学（日本語・日本文化プログラム）のシェムス・アジモワと申します。アゼルバイジャンからまいりました。アゼルバイジャンはカスピ海に面しコーカサス3国の一つに数えられ，新しい文化と古い文化が入り混じった特有の景観が見どころとなっています。また石油国として発展を続けています。アゼルバイジャンの首都は「バクー」と言い「風の町」という意味です。言語はアゼルバイジャン語でトルコ語に似ています。





広島大学国際交流会館／アゼルバイジャンコーナー

料理

日本料理は健康的だと思います。アゼルバイジャン料理が油っぽいので，来日してすぐはまずいと感じましたが，2週間後慣れてくると健康的な日本料理を作れるようになりました。大好きな和食が広島の名物「お好み焼き」です。和菓子も大好きで，食べたことがなかったあんこ味の和菓子も美味しいと思います。

文化

アゼルバイジャンと全く違う日本文化に子供の時から興味があって，日本に来てからは色々なことを体験するチャンスがありました。帰国した後アゼルバイジャンで生け花を紹介したいと思い，現在広島大学華道部に参加しています。アゼルバイジャンがイスラム教の国なので，文化にイスラム教の影響が結構強く日本と違うところが多いです。

先進国

来日する前にも日本が発展していることを知っていましたが，こんなに発展している国だと思っていなかったです。田舎だと言われているところも結構綺麗で，どこでも自動販売機とかコンビニがあります。特に，日本教育システムは完璧だと思います。

優しい日本人

日本人もアゼルバイジャン人と同じように優しいです。特に私のホストファミリーの佐々木さんとは，味噌・納豆・餅を作って楽しい時間を過ごしました。10月からHiCISのイベントにもできるだけ参加しています。たくさんの日本人の友達もでき忘れられない思い出になりました。

最後に

日本にアゼルバイジャンを紹介するために一生懸命頑張っています。大学院にも進学したいと思っています。広島に来て，8か月が経ちましたが楽しい時間を過ごしています。ここで体験した日本文化の美しさをアゼルバイジャン人にも伝えたいです。

そして，将来の夢は日本語の先生になることです。日本に興味がある学生に日本語だけじゃなくて，日本の文化も教えたいと思っています。先生になるためにまず大学院に進学して日本語とアゼルバイジャン語の似ている点について研究したいと思っています。



ホストファミリーとBBQを楽しみました



センター事業のりんご狩りに参加



大学の華道部の活動



京都の伏見稲荷大社へ旅行に行きました



大学のハロウィンパーティーの様子

当センターにおける新型コロナウイルスへの対応について

当センターでは，新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため，施設利用や一部事業を中止していましたが，6月から再開しました。
当面の間は次の対応にて運用します。ご利用の皆様にはご不便をおかけしますが，ご理解・ご協力くださいますようお願いします。
なお，今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては，対応を変更する場合があります。変更内容は随時，ホームページに掲載しますので，ご確認ください。

1 マスクを必ず着用してください。
2 入館時は手洗いや備え付けの消毒液で 指・手を消毒してください。
3 来館は必要最小限の人数としてください。
4 人との間隔をできるだけ2m（最低1m）空けてください。
5 37.5℃以上の熱や体調不良の方は，来館をご遠慮ください。（検温をさせていただく場合があります。）

（交流部）

区分	対応（詳細は左のURL又は二次元コードをご覧ください。）
交流ホールの使用	使用人数は36人以下とします。
ワンペア学習や自習などのオープンスペースの利用 https://bit.ly/3cORrlf	平日 ・利用テーブル数を制限(13テーブル)し，利用時間は，1日2時間までとします。 ・テーブルが満席の場合には利用できません。 土曜日 ・土曜日のオープンスペースの利用は，予約制（電話又は来館）とします。 ※メールでの予約は受け付けません。 ・利用時間は平日同様，1日2時間を限度とします。　・予約は，ワンペア学習を優先します。 ・自習での利用は，その週の木曜日の午後の時点で空いている場合のみ予約できます。 ・予約なしで来館された場合，予約が入ってないテーブルがあった場合のみ利用いただけます。
外国人のための専門相談（木曜日・土曜日）	・面談による相談を再開します。 ・これまでどおり電話での相談も受け付けます。

（研修部）

区分	対応（詳細は左のURL又は二次元コードをご覧ください。）
情報センター・図書室，NGO交流室の使用 https://bit.ly/2Ytlpaw	・情報センター・図書室の開室時間は，変更ありません。 （10：30～19：00，ただし，月～金の12：30～13：30は閉室。日曜日閉室） ・図書，DVD，CD，雑誌を貸し出します。貸出資料数に制限がありますので，詳しくはHPかお電話（082-421-5755，開室時間中のみ）でご確認ください。 ・図書，雑誌，新聞は図書室内での閲覧が可能です。1時間以上の滞在はご遠慮ください。 ・自習やAV視聴，PC，各種相談・NGO交流室のご利用はできません。
研修施設の貸出 https://bit.ly/2XGQrex	研修室の定員数を当面，従来の約半数で運用します。 ・大研修室 60名 ➡35名（講師含む） ・中研修室 24名 ➡13名（講師含む） ・小研修室 12名 ➡ 7名（講師含む） ・クッキング交流室 ➡利用できません
レストラン「ラコルト」の営業 https://bit.ly/2MAL8XC	・営業時間は変更ありません（ランチ：12：00～13：30，ディナー：18：00～20：00，ラストオーダーは閉店の30分前）。 ・入店の際は，店内入口の手洗い場で手指の洗浄，アルコール消毒をしてください。食事中以外はマスクを着用してください。 ・バイキング料理取り分けの際は，使い捨て手袋を必ず着用してトングを持ってください。また，利用者同士2m以上の間隔をあけて並び，会話は控えてください。（お代わりの際も同様） ・お子様のみで料理の取り分けは行わないでください。（保護者の方が取り分けてください。） ・一度手元に取ったもの（食器，料理等）は戻さないでください。 ・十分な間隔を空けて着席してください。（所定の場所から座席を移動させないでください。）



Upcoming Event News

ユニセフ・パネル展

『ユニセフによる戦後日本の子どもたちへの支援』と『ようこそ「チーム・ユニセフ」へ～スポーツの力を，すべての子どものために～』のパネル，およびユニセフ支援物資サンプルを展示します。

日 7月15日(水)～23日(木祝)　費 無料　定 なし
時 9時30分～22時00分　7月15日(水)は11時～，7月23日(木祝)は15時まで，7月20日(月)は休館
場 合人社ウェンディひと・まちプラザ 南棟1階エントランスロビー(広島市中区袋町6番36号)
問 広島県ユニセフ協会　担当者：髙田 和美
℡：082-231-8855 ／ mail：unicef-hiroshima_06@theia.ocn.ne.jp

New 新ひろしま留学大使特集

ひろしま留学大使とは？

県内の留学生が広島での学生生活や就職活動，
県内の観光地などいろいろな広島の魅力をSNSを通じて発信していきます。
他の留学生の模範となれるよう
地域のイベントやボランティア活動にも参加していきます。

Hiroshima Study Abroad Ambassador



2020年のメンバーにインタビュー

Q1.自己紹介をお願い致します★
Q2.ひろしま留学大使としての意気込みをお願いします!!





韓国出身
県立広島大学

ジョヨンドさん

A1.自分は令和一年から日本で留学生活を始めた韓国人留学生のジョヨンドと申します。もともと，海外の方との交流が好きで，もっと国際交流を希望しています。趣味は音楽を聞いたり，韓ドラをみたり，筋肉トレーニングをしたりくらいです。

A2.自分は，日本に来ていろいろな人と触れ合ったり経験してとても，勉強になりました。今回のひろしま留学大使としての交流に真剣に挑み，頑張りたいと思います。





台湾出身
広島大学

何雅臻（カ ガシン）さん

A1.広島大学に留学している何雅臻（カ ガシン）です。専攻は観光地理学です。台湾出身です。留学期間中，一番やりたいことは47都道府県制覇することです！日本の文化と景色を味わいながら，日本の深さを感じたいです！

A2.広島に来て，もうすぐ三年目になります。宮島だけではなく，広島には見どころまだまだたくさんあります！まだまだ全県制覇していないですが，広島の留学生活や広島の魅力をどんどん発信して続けていきたいと思います。ぜひ広島に遊びにきてくださいね！





インドネシア出身
広島女学院大学

Prissilia Siswantoさん

A1. Selamat pagi !! インドネシアから来たプリシリアです。広島歴は３年半になり，広島弁にもだいぶ慣れてきました（笑）広島は，自然が豊かで，人が優しくとても過ごしやすい街だと思います。インドネシア人にも世界中の人にも，広島の「ぶち」良いところを伝えていきたいです！

A2.私は，広島留学大使として，広島で学ぶ魅力をSNSをとおしてインドネシアを中心に世界中に発信していきたいと考えています。具体的には，日々の学生生活，アルバイトに関すること，そして広島で訪れるべき名所に関することなどを中心に投稿していきたいと考えています。また，大使として広島における文化体験活動などにも積極的に参加して，広島の皆さん，他の大学の留学生とも積極的に交流をしていきたいと思います。

広島の魅力を伝えていくため，昨年はこんな体験をしました♪

着物を着て
縮景園を散策





大竹で
紙すき体験！

今年は新型コロナウィルス感染拡大の影響で例年より遅れてのスタートとなってしまいました。
6月下旬に任命式を行い本格始動していきます！
総勢65名，中国・ベトナムなど13カ国の学生さんで活動していきますので
これからのひろしま留学大使の活動を楽しみにしていてください♪

HSAA
Facebook：https://www.facebook.com/hsaa2014/
Web：https://hsaa-studyabroad.jimdo.com/

ひろしま国際交流サミットの助成事業の募集について

令和2年度のひろしま国際交流サミットの助成事業の募集を開始しました。
募集要項は以下の通りです。ひろしま国際交流サミットの会員団体様で以下の条件に沿った活動を計画されている団体がありましたら，是非応募ください。

【助成対象となる事業】

以下のどれかに該当する事業で，かつ他の団体の先導的・模範的なる取組が対象です。

（1）コミュニケーション支援事業
日本語ができない在住外国人のための情報の多言語化や日本語・日本社会の学習支援など

（2）生活支援事業
住居，医療，保健，福祉，労働，教育，防災などの分野における外国人支援など

（3）多文化共生の地域づくり
外国人住民が地域の行事や活動に溶け込むことができるような支援など

（4）その他
国際交流，国際理解，友好親善，国際協力などの事業

応募のあった事業から，厳正な審査の結果3事業を選出し，令和2年度の助成事業として助成金（20万円を上限）を支給いたします。
詳しくは当センターからの案内および「ひろしま国際センター国際交流サミット」の助成金交付要領を参照ください。
なお，令和元年度の助成事業と団体は以下の通りでした。

対象団体名	対象事業
ふくやま国際交流協会	外国にルーツを持つ子供のための夏休み・冬休み日本語チャレンジ教室
安芸高田市国際交流協会	災害時の外国人への多様性と包括的な対応
市民活動グループ ええじゃん	「転ばぬ先の杖」セミナー（講義・グループ討論・個別相談）


日本語チャレンジ教室


災害時の外国人への多様性と包括的な対応訓練


『転ばぬ先の杖』セミナー

留学生のみなさんへ！

「留学生による広島留学動画コンテスト」のお知らせ

留学生による「動画コンテスト」を開催しています！
日本へ留学を考えている人へ向けた，「広島留学の魅力（みりょく）」を発信する動画を作り，投稿してください！
最優秀賞（さいゆうしゅうしょう）はなんと賞金5万円♪
動画を作ることに自信がなくても大丈夫です！
応募をおまちしています！


2019年度表彰式



チラシ

募集テーマ

「広島に留学したくなる」動画

（国内・海外から）留学を希望してる人が見て，「広島に留学をしたい」と思ってもらえるような動画を作ってください。

締　切	2020年10月30日（金）
応募資格	県内に住んでいる外国人留学生
賞　金	最優秀賞（1位）：50,000円（1作品） 優秀賞（2位）：30,000円（1作品） 佳作（3位）：10,000円（5作品）

応募のやり方はWebをみてください
→ https://bit.ly/2wgh1MS

交流部

Report 1 「オンラインでおしゃべりしよう」を開催しました!



新型コロナウイルスの感染予防のため，当センターでは，当面，対面式のイベントの一部をオンラインに切り替えて実施しています。

5月には，広島県国際交流員のホルヘ・ロドリゲスさん（メキシコ出身）をゲストに，少人数でのオンラインチャットを楽しむ「オンラインでおしゃべりしよう！withホルヘさん」を開催しました。参加者の方のお家での過ごし方や，日常のことなど，普段のイベントではなかなか話すことのない身近な話題で，みなさんリラックスした雰囲気のなか楽しんでいらっしゃいました。

6月には，ホルヘさんに加え，ホ・ソヒさん（韓国出身），ゴトウ・ハーシグ・アヤさん（アメリカ出身）の3名による「オンラインでおしゃべりしよう！」の第2弾をそれぞれ開催しました。

今後は，新型コロナウイルスの状況を見ながら，対面式のイベントを再開するとともに，オンラインでのイベントも当面，引き続き開催することとしています。

交流部

Report 2 「日本語で話そう!」を開催しました。(HIC×わくわく コラボ企画)



5月18～29日に計12回，オンラインのイベント「日本語で話そう！」を開催しました。

この交流イベントは，日本に住んでいるにも関わらず，新型コロナウイルスによる自粛期間中に日本語を使う機会が減ってしまった外国人の皆さんが日本語を使って交流する機会を持てるよう企画しました。今回は広島大学の学生サークル「わくわく」さんとコラボし，日本人学生と留学生の皆さんでおしゃべりをしたり日本語を使ったゲームなどをして交流しました。

状況に合わせて皆さんが楽しめるよう工夫して進行してくれた「わくわく」の皆さん，参加者の皆さんありがとうございました。

交流部

Report 3 第1回グローバルキャリアセミナー(オンライン)を開催します

国際舞台で活躍する人づくりに向け，第1部では海外での仕事経験のある講師が，国際関係の仕事の体験談ややりがい，仕事に就くための秘訣を語ります。

また，第2部では，国際協力に取り組む大学生の団体からの活動報告をしてもらいます。

国際関係の仕事を目指している中学生・高校生・大学生の方，ぜひご参加ください。（一般の方の参加も可能です。）

日　　時	令和2年7月19日（日）　13：30～16：00
方　　法	オンライン（Web会議システムZoomを使用します）
講　　師	（第1部）認定NPO法人ACE　坂口志保さん（経理・総務　チーフ） 認定NPO法人ACE　田柳優子さん（インドプロジェクトマネージャー）
報 告 者	（第2部）Smiles Production，学生国際協力NGO FEST-HIROSHIMA など
参 加 費	無料
お申込み	https://bit.ly/2N99fga
特　　典	25歳未満の参加者全員に「チェンジの扉」を１冊プレゼントします。

↑お申込みは
https://bit.ly/
2N99fga

認定NPO法人ACE　http://acejapan.org/

● ACE（エース）は，児童労働の撤廃と予防に取り組む国際協力NGOで，1997年に学生5人で設立しました。
● インドのコットン生産地とガーナのカカオ生産地で危険な労働から子どもたちを守り，
日本で児童労働の問題を伝える啓発活動や児童労働を解決するための活動を行っています。


インドの子ども達

留学生活躍支援センター

Report 4　オンラインで就職個別相談を始めました!





日本での就職を希望している留学生の就職活動を支援するため，就職専門の相談員を配置し就職個別相談を行っています。

新型コロナウイルスの感染拡大により，一時，対面による就職個別相談もできなくなったことから，会議通信アプリZoomやSkypeを使ったオンライン相談を始めました！メールや電話だけでは伝えにくいことも，オンラインで相談員と顔を合わせながら話すことができます。

6月1日からは，新型コロナウイルスの感染予防の措置を取りつつ，対面による就職個別相談も再開しております。

就職活動の進め方がわからない，エントリーシートの書き方がわからないなど，なんでも構いません。気軽に相談をしてみましょう。

また，オンライン面接などの会場に困っている留学生は，6月1日から当センターの交流ホールやWEBカメラ付きパソコンなどを無料で貸し出しますので，希望者は申し込んでください。

↑相談申込は
こちらから
https://bit.ly/3ad2hAF

↑無料貸出申込は
こちらから
https://bit.ly/30it8t9

留学生活躍支援センター

Report 5　外国人留学生インターンシップの受入企業募集!

外国人留学生にとって，日本企業でのインターンシップは，日本企業の働き方やルールなどを知る上で貴重な体験です。また，受入企業にとっては，外国人留学生の能力や考え方などを深く知り，採用につなげるチャンスでもあります。

当センターでは，外国人留学生のインターンシップの受入企業を募集しています。

外国人留学生の採用に関心のある企業の皆様はお気軽に当センターにご相談ください。

申　込　先
①オンライン申込　https:bit.ly/2TPEaSw
②申込書送付：様式ダウンロード→ https://bit.ly/2UnEto5
・必要事項を記入し，FAX又はEメールにより申込
FAX：082-212-0366／Eメールask-hiroshima@disc.co.jp

↑オンライン
申込

↑様式
ダウンロード

就職体験コース	1day仕事研究コース	企業見学ツアーコース
受入日数：5日～2週間 内　　容：企業での就職体験を通じて，日本企業の仕組みや商習慣，ビジネスマナーを身に付ける。 対　　象：日本語能力試験N2以上，またはそれと同等程度の日本語能力を有する留学生。	受入日数：1日または半日 内　　容：企業概要や業務内容の説明，見学，ワークショップなどを通して県内企業の理解促進を図る。 対　　象：日本語能力試験N2以上，またはそれと同等程度の日本語能力を有する留学生。	受入日数：半日（2～3時間程度） 内　　容：貸切バスで1日2～3社の企業を訪問し，県内企業の認知向上を図る。 対　　象：日本語による説明が理解できる留学生。

留学生活躍支援センター

Report 6　外国人留学生WEB合同企業説明会の参加者募集!



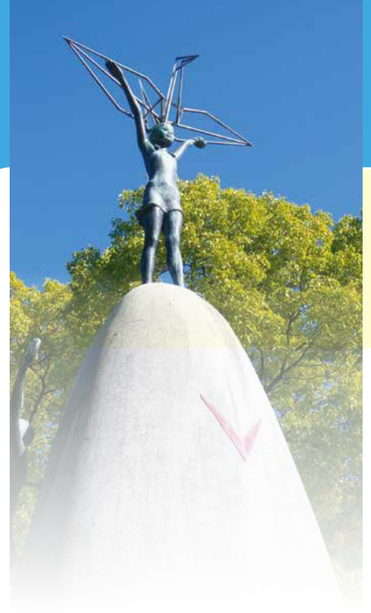
日本での就職を希望する外国人留学生を対象とした合同企業説明会をオンラインで開催します。

出展企業数は約20～30社を予定しています。各企業から留学生の採用情報に関する説明のほか，留学生からの質問に後日，回答します。

配信方法は，LIVE配信（7月16日（木））とオンデマンド（録画）配信（8月1日頃から配信開始予定）の2種類を用意しますので，当日参加ができない方にも後日視聴していただくことができます。

日本での就職を考えている外国人留学生の皆様，この機会に是非，ご参加ください。

←申込先は，
https://
bit.ly/3czPFnN



～JICA中国の 平和への取り組み～

75th anniversary of the atomic bombing of Hiroshima

被爆75年

この夏，広島は被爆75年を迎えます。被爆の実相や戦後の復興，そしてそれに関わった人々の平和への思いを伝える青年海外協力隊員がいることをご存じですか？そして，平和構築を学ぶために広島にやってくる開発途上国の人々がいることをご存じですか？今回はそういった人々と，それをサポートするJICA中国の取り組みをご紹介します。

青年海外協力隊による原爆展

山田英恵さん
モンゴル　小学校教育

＜開催のきっかけ＞

モンゴルで「広島から来ました。」と自己紹介をすると，必ずと言っていいほど「あの原爆が落ちた町の？」と聞き返されます。モンゴルでは，ある歌手が佐々木禎子さんの歌を作ったことがきっかけで，たくさんの人が広島＝原爆というイメージを持っているのです。しかし，原爆が落ちたことは知っていても，広島の今を知る機会は少なく「今は大丈夫なの？」「生活できるの？」と尋ねられることも少なくありませんでした。このような現地の方々とのやりとりを機に，原爆の悲惨さだけでなく，広島の復興や今の様子，そして，平和を願い続けている被爆者や私たちの思いも知ってほしいと思い，原爆展を開催しました。



平和記念公園には，平和を願う人々から毎年多くの折鶴が届けられることを伝える山田隊員。

＜隊員だからこそできる平和の取り組み＞

私は学校に派遣されていたので，小中高生を対象に原爆が落とされた広島についての授業を行い，「戦争・平和」とはどのようなものかを考えてもらいました。一方通行の情報提供ではなく，子ども達が質問したり，自分の考えを話す時間を取ったりすることができたのは，その学校でいつも授業を担当し，生徒たちの顔が分かり，現地の言葉でコミュニケーションできる協力隊員だからこそだと思います。



小学生が作った平和を願う虹の手形アートに，中高生が書いた平和のメッセージを貼って完成



＜広島に帰って思うこと＞

モンゴルの子ども達は，世界に興味があり，いつか外国へ行ってみたいという思いが日本の子ども達より強いと感じました。広島で教育現場に戻り，今度は自分のモンゴルでの体験を子ども達に伝えることで，多面的な視点を持ち，多様性を受け入れることのできる子どもを育てていきたいと思っています。学校はいじめや不登校など多くの問題を抱えていますが，小さな子ども達でもお互いを認め合うことができたら，学校に来ることも，友達と勉強することも楽しくなるのではないかと思うのです。



8月6日，平和記念式典で献花をするソマリアの研修員

平和記念式典参列

「広島で起こった出来事を学ぶため，世界のリーダーはこの地を訪れるべき。」こう語ったのは平和記念式典に参列した南スーダンの研修員です。

8月6日，広島が祈りに包まれるこの日，JICA中国で研修を受けている各国の研修員も，平和記念公園で行われる式典に参列します。2019年の式典には，ソマリア，イエメン，南スーダンなど紛争を経験し，今まさに復興に挑んでいる国の研修員も他国の研修員とともに参列し，平和への誓いを新たにしました。

JICAが行う研修の内容は様々で，研修員の専門分野も多岐にわたりますが，JICA中国では広島で行う研修コースのプログラムの中に「平和学習」の時間を積極的に組み入れ，世界各国の研修員に平和の意義を考える機会をつくっています。これまでに約1,900名が参加しました。

広島で育てる世界の平和人材

JICA中国は広島に位置するという特性を活かし，開発途上国から紛争後の復興を担う行政官を受け入れ，研修を行っています。具体的には，民主的な行政の仕組み，中央政府と地方自治体の効果的な連携方法を学ぶコースで，どのように地方行政を行うか，どのように市民と自治体が協働して復興を成し遂げたかなどを学びます。

2019年度はこういった研修に加え，ナイジェリア，ソマリア，パレスチナ，フィリピンのバンサモロ自治政府といった，紛争の再発を防ぎ，復興が急務といえる国や地域の政府高官を広島に招聘しました。広島では，平和記念資料館を見学したり，広島県庁の平和推進プロジェクト・チームや戦後復興を研究する専門家と意見交換したりする中で，広島の復興経験を学び，自国の再建に活かせる点を考えていただきました。政府高官はその国の政策に大きな影響力を有するので，彼らが広島で学ぶことは平和構築の観点から大きな意義があります。

こういった開発途上国で紛争後の復興を担う行政官や政府高官に広島の経験を伝えることは，言い換えれば，その国や地域が平和の礎を築くことに広島が貢献しているということになります。こういった学びを後押しすべく，そして国内外に広島の経験を発信すべく，JICA中国では2019年度に広島県・広島市の経験や知見を紹介する動画を作成しました。戦後復興における地方行政の役割や取り組みについて，研修等で活用しやすいようにコンパクトにまとめています。以下のYoutubeで日本語版も視聴可能ですので，是非ご覧ください！

URL：https://youtu.be/okr4O-tvWhc

JICA　ヒロシマ復興　検索



75年前に起こった悲劇と，復興を遂げた今の広島を目の当たりにすると，多くの人々が平和の尊さを認識し，平和こそが国づくりの基礎であると確信します。JICA中国では，これからも広島の皆さんの力を借りながら，開発途上国の平和で持続的な社会の構築に向けた協力活動を進めていきたいと考えています。

Hello Hiroshima

Vol.109 July 2020



Hello everyone, Aya here!

Aya
(Hiroshima Prefectural Coordinator for International Relations)

Wow, crazy how our worlds have all changed so drastically since the last HIC newsletter, despite only a few months having passed. From employees working remotely, to parents staying at home and taking care of their children, to students having to do their classes online, to even those of us who have still been going to their workplaces every day, no one's life has been left unchanged by the coronavirus pandemic. I hope you and your loved ones are all staying safe and healthy during this trying time.

I of course cannot speak for all of you. However, I think it's during situations like these, where we are wrenched from our daily routines and the general all-consuming nature of the everyday, that we are able to reexamine ourselves and our lives.

This could mean realizing that our physical health is not something to be taken for granted after all. This could mean not knowing the next time you will see your loved ones, so talking to your mom on the phone once every week even though it used to be once every month. This could mean finally having the time to pursue the hobby that you've always wanted to try.

I implore you, no matter what that change has been for you, to consider and reflect on it as Japan begins to loosen its coronavirus restrictions. To be intentional about your return to a "more" normal everyday life. What would you like to carry with you from this quarantine? Do you still want to make time every day to play the guitar? To eat out for dinner less? To play with your kids more often? To call someone important to you every week? To have more me time?

For me personally, this time has reminded me how important the people in our lives are, and to never take them for granted. I have been video-calling with my family every week, even though we rarely did before the pandemic. It's funny because it's easy to do and it brings all of us so much joy, but somehow it took a pandemic to make it happen! I want to make sure that even as I return to a more regular routine, that I continue to carve out an hour every week, to talk with my family and show them how much I care.

Whatever your realization, reflection or resolution may be, I wish you all the best of luck, and to remember that we are all in this together!!



Video-call with my family

外国人留学生へ奨学金を支給します

新型コロナウイルスの感染拡大により，企業活動や家計に多大な影響を受けている中，皆様からの温かいご支援をいただき，ありがとうございます。

今年度は，皆さまからのご寄付などにより広島県内の私費留学生43名に奨学金（1か月3万円×12か月）を支給する予定です。

このほか，来日または来広直後の留学生20名に県内の大学等からの負担金や当センターの財源により，奨学金（年間18万円）を支給する予定です。



佐々木茂喜会長

新型コロナウイルスの影響により，外国人留学生はアルバイト収入が減り，学業の継続や生活の維持に苦労しています。
奨学金の支給にご寄附をいただける企業・団体，県民の皆さまを引き続き募集しています。
【申込先】（公財）ひろしま国際センター　082-541-3777　担当：廣藤（ひろふじ）・北角（きたかど）

企業等協力留学生奨学金寄付企業・団体（34企業・団体／口数・50音順）

マツダ株式会社／一般財団法人多山報恩会／株式会社広島銀行／株式会社あじかん／株式会社アスティ／株式会社ウッドワン／オタフクソース株式会社／国際ソロプチミスト広島／株式会社シンギ／株式会社第一学習社／株式会社中国新聞社／中国電力株式会社／株式会社中電工／南条装備工業株式会社／西川ゴム工業株式会社／広島ガス株式会社／一般財団法人広島国際文化財団／広島信用金庫／広島電鉄株式会社／株式会社広島東洋カープ／株式会社マツダE＆T／マツダエース株式会社／マツダロジスティクス株式会社／三島食品株式会社／株式会社もみじ銀行／株式会社モルテン／医療法人社団ヤマナ会／株式会社いとや／一般社団法人広島県医師会／株式会社福屋／株式会社中国放送／株式会社テレビ新広島／広島テレビ放送株式会社／株式会社広島ホームテレビ

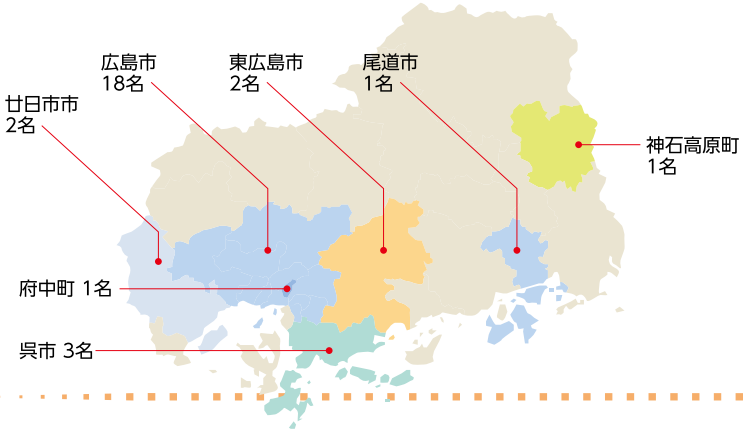
企業等協力留学生奨学金制度　企業・団体の皆さまからご寄付（1口年間37万円）を原資として奨学金の支給を行っています。

県民支援留学生奨学金制度　県民の皆さまからにご寄付（1口年間5,000円）を原資として奨学金の支給を行っています。

広島から世界へ！ いつか世界を変える力になる！

28名の広島県出身の隊員が世界で活躍しています！

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により日本国内で一時待機中です。（2020年7月現在）



■現在赴任中の広島県出身 JICA海外協力隊（名）

区　分	男性	女性	合計
青年海外協力隊	12	7	19
シニア海外協力隊	3	1	4
日系青年海外協力隊	3	2	5
日系シニア海外協力隊	0	0	0

2020年4月30日時点

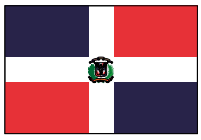
＜JICA海外協力隊＞

「自分の持っている技術・知識や経験を開発途上国の人々のために活かしたい！」という強い意欲を持つ20歳～69歳の日本国籍を持つ方が対象のボランティア事業です。
派遣は原則2年間。衣食住を現地の人とともにしながら，互いに理解を深め，同じ目線で途上国の課題解決に取り組みます。また，帰国後も現地での経験を日本の地域や世界の発展に役立てることが期待されています。
そんな草の根レベルのボランティアに，あなたも参加してみませんか？

帰国隊員レポート

～ドミニカ共和国篇～

職種：木工　**楳田 亨樹さん**





ドミニカ共和国

カリブ海にあるイスパニョーラ島の東側を統治する立憲共和制国家

【概要】面　積：約48,442平方キロメートル
人　口：1,076万人
首　都：サントドミンゴ
言　語：スペイン語
宗　教：カトリック

現地での活動内容



▲任地写真

首都サント・ドミンゴから車で6時間ほどの南西部にある小さな村の木工組合に配属されました。近年のドミニカ共和国では，他国と同様に輸入家具が大量に入荷し価格も安価で質の良い製品が多くあります。その為この環境下で，中小の工房では輸入家具に対抗できる家具の生産力や販売力までの向上を期待することはとても難しいと感じました。そこで，年々増加傾向にある欧米等からの観光客に向けた商品開発に目を向けました。2年間週に1～2回の頻度で木工組合員対象に講座を開催してきました。商品の開発というテーマを軸に，デザインについて，5S（清掃等），任国では知られていない木工技術についても盛り込み，木工についての興味・関心を少しでも深める内容にしました。



▲活動写真



▲活動写真

ドミニカ共和国ってこんなところ！

ドミニカ共和国はとても綺麗なカリブ海と陽気なラテンミュージック，それと何と言っても，陽気で愛情豊かなドミニカ人がとても魅力的です。昼夜を問わず，街中ではいたるところでラテンミュージックを大音量で流し，お酒を片手に陽気に踊る事も日常的です。自然豊かな環境に囲まれ，カリブ海最高峰であるピコ・ドゥアルテ山や美しいビーチがたくさんあります。



▲カリブ海

ドミニカ共和国の食事



▲サンコーチョ

ドミニカ料理は海に囲まれていますが，海沿いの地域以外では海産物はあまり食べません。庶民の家庭に並ぶのは，豆料理が中心で，豆を煮込んだものをお米や食用バナナにかけて食べるのが一般的です。ただ，週末やお祝い事の時には鶏や豚などの肉料理も食卓に並びます。その中でも私が最も好きなのが，サンコーチョという料理です。この料理は日本でいうカレーのようなもので，鶏肉・豚肉・牛肉を芋やトウモロコシ，バナナと一緒に煮込みパクチーやセロリなどの香辛料で味付けをします。日本人の口にも合いとてもおいしいです。他にもマンゴーやパッションフルーツなどの南国フルーツがたくさんあります！

楳田（うめだ） 亨樹（こうき）さんプロフィール

・福山市出身。
・デザイン学校卒業後，6年間家具メーカーで家具のデザイン・設計製作に携わっていました。その後，2016年1月から青年海外協力隊の木工隊員としてドミニカ共和国で活動。村落地域の木工組合に配属され，村で生産される木工製品の品質の改善・木工技術の向上・新たな商品企画の支援を行う。2019年1月帰国。現在は，瀬戸内海にある島に移住し地域の特産品である柑橘を生かしながら，木工製品の製作を行っている。

参加のきっかけ

幼い頃から，海外で生活・仕事をすることに憧れがありました。その事を，大人になり今後の人生について見つめ直していた時に思い出し，今しかないと思い参加する事を決断しました。

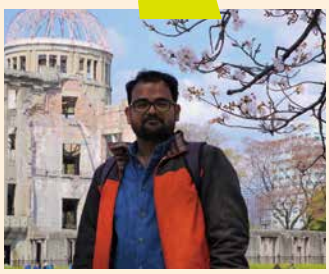
参加して思うこと

大きく異なる文化の中で長く短い２年間を過ごし，多くの経験・新たな自分・仲間に出会い，日本という現実から離れ俯瞰して今後のことを考える時間があった生活は，心の幅を広げてくれ，人生を豊かなものにしてくれました。

Global Relations Program

「グローバルリレーションズ・プログラム（GRP）」参加者の声

HIC article: Dyuti Prakash SARKARさん（Kolkata, India）



¡Hello world! I am Dyuti from India. I am a doctoral student at Hiroshima University and primarily work on elucidating deformation mechanisms in fault zones, which is a sub-field of the Earth and Planetary Systems Science Program at Hiroshima University. At present, I stay in Hiroshima International Plaza (HIP) as a member of Global Relationships Program (GRP). GRP facilitates as a platform for cultural exchange between the local community and GRP members, by organizing different cultural exchange events. As a GRP member I have been able to volunteer in a number of cultural exchange events, learning about the local customs from Japan and around the world. The time I spent with students at the nearby school during Tondo festival, explaining them about my country and then enjoying roast mochi (rice cake), is the one I treasure most. In addition, there were other such events where, as a GRP member, I got the chance to visit some local schools introducing them to indigenous outdoor games of India. Some events were also conducted in the HIP premises, where many school students came up for an active discussion with us. Seeing their enthusiasm and inquisitiveness have always made me happy.

As for HIP itself, equipped with all the essential necessities and the endearing staffs, I have always felt it as a home away from home. Surrounded by Sakura and Momiji trees, HIP is beautiful in every season. Furthermore, with the indoor game rooms, a well facilitated gym, a beautiful music room and a very interesting library, I think this is one of the best places to live in. More importantly, since the GRP members are from different countries, we have better chances of understanding each other collectively. One of my favorite places in HIP though, is the cooking room, where we cook with other members enjoying authentic delicacies from around the world. The cooking room is also officially used for different cooking events with local community, and fortunately I got a chance to introduce cuisines from my hometown (Kolkata) to the local community.

The beginning of the year 2020 has been difficult all over the world with the ongoing pandemic and frequent natural disasters, however, people around the globe have been enduring and moving forward. Here at HIP too, during these difficult times it has provided great care and kept us in good spirits. Additionally, the in-house medical amenities and frequent medical advices over email by HIP office members have kept us informed and diligent. Also, with the high-speed internet facilities, we have been able to maintain contact with the family and friends. Taking online classes and continuing research work from home have also been quite convenient. I have cherished every day of my stay here and have been able to learn a lot of things from fellow GRP members, visiting JICA members, people from local communities and school students. Hopefully, soon we get to organize more such events once the pandemic is under control.

みなさん元気でね! Stay safe and stay healthy.

グローバルリレーションズ・プログラム（GRP）とは？

ひろしま国際プラザに入居して大学に通いながら，国際社会で活躍できる「実践力」を身につけることを目的にした，外国人留学生のためのプログラムです。現在，8ヶ国16人の留学生が参加しています。

そのほか，レジデントアシスタントの日本人学生2名が入居し，彼らを支援しています。

★入居使用料
1泊800円　管理費2,550円／月
月額24,950円～27,350円（水道光熱費込み）
★毎年，春と秋に入居者を募集しています。詳しくは「ひろしま国際プラザ」のHPをご覧ください。

HICのInstagramアカウントを開設しました！

アカウント名：hic_cir

HICからの情報発信ツールとして，Instagramを始めることになりました！
広島県国際交流員（アメリカ・メキシコ・韓国出身）と一緒に，役立つフレーズや母国の料理レシピ，文化の紹介など，楽しくてためになる情報をお届けしていきます♪　最新のイベント情報なども掲載予定です！

▶こちらから Instagramページに アクセスできます

HIC_CIR

交流部&留学生活躍支援センター

〒730-0037
広島市中区中町8-18　広島クリスタルプラザ6F
TEL.(082) 541-3777 FAX.(082) 243-2001
E-mail／hic@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間
月～金 10:00～19:00　土 9:30～18:00
日・祝日および年末年始(12/28～1/4)はお休みです。

研修部（ひろしま国際プラザ）

〒739-0046
東広島市鏡山三丁目3-1　ひろしま国際プラザ内
TEL.(082) 421-5900 FAX.(082) 421-5751
E-mail／hicc@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間
（情報センター・図書室・NGO交流室）
月～土 10:30～19:00※
日・祝日および年末年始はお休みです。

※情報センター・図書室は平日12:30～13:30閉館です。臨時に閉所する場合は，HPで随時お知らせします。



